

# 東海医学会講演会のご案内

演題：ヒト ES 細胞の研究から応用へ

演者：阿久津 英憲 先生

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
再生医療センター 生殖医療研究部部長

司会：木村 穰 (医の倫理委員会副委員長)

共催：東海大学医学部医の倫理委員会



国立成育医療研究センターでは、組織設立当初から小児の難病研究、治療法開発のためにヒト ES 細胞の樹立研究を整備してきた。ヒト ES 細胞の樹立指針に則り、わが国 2 番目の施設として、ヒト ES 細胞の樹立計画が承認され 2010 年にヒト ES 細胞 (成育 ES 細胞 : SEES) の樹立を報告した。国立成育医療研究センターでは、ヒト ES 細胞による再生医療研究を進め、2020 年 5 月に、ヒト ES 細胞を活用した先天性高アンモニア血症に対する再生医療の成功を報告した。ヒト ES 細胞による再生医療はわが国初であり、肝臓への移植、さらに新生児に対する ES 細胞-再生医療は世界初の事例となった。

本講演では、現行のヒト ES 細胞に関する指針の制度と運用を概説し、ヒト ES 細胞の再生医療研究の世界的な状況を報告する。加えて、国立成育医療研究センターで行ってきているヒト ES 細胞の研究と再生医療応用についても紹介したい (文責：阿久津英憲先生)。

本講演会は「ヒト ES 細胞の使用に関する倫理指針」(平成 31 年文部科学省告示第 68 号)に記載の教育研修を兼ねております。関係者はぜひ受講ください。

また、阿久津先生は当日 15:00-18:00 開催の卓越研究員事業 Webinar 「ヒト多能性幹細胞と多層的トランスレーショナル研究」のシンポジウム講演者の一人でもあります。(文責：木村穰)  
福田篤卓越研究員企画 Webinar：東海大学テニユアトラック制度 <http://www.pr.tokai.ac.jp/tuiist/> 内

2020年12月7日 (月)

13:00～14:00

1号館 講堂 B